

下水協発第254号
令和3年6月3日

各位

東京都千代田区内神田2丁目10番12号
内神田すいすいビル
公益社団法人 日本下水道協会
理事長 岡久 宏史
(公印省略)

第58回下水道研究発表会の開催について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の業務運営に対しまして、日頃より格段の御配慮を賜り深く御礼申し上げます。

さて、本会では下水道事業のより一層の円滑な発展に資するため、研究発表会や各種研修会を実施しており、この度、標記研究発表会を来たる8月17日（火曜日）～19日（木曜日）の3日間、大阪府大阪市のATCにおいて、別紙要領により開催いたします。

本発表会は、地方公共団体や学校、民間企業の下水道事業に携わる研究者や実務者が、経営・計画、雨水対策、環境・水リサイクル、建設、維持管理、水処理技術、汚泥処理技術、計測・制御等の分野における、日頃の研究成果の発表、実務・事例報告の発表を通して、相互に情報交換し議論することにより、下水道事業の発展並びに下水道技術の進歩・向上を図ることを目的に開催するものです。

本研究発表会では、口頭発表、ポスター発表のほか、特別講演、パネルディスカッションを開催いたします。特別講演は、元・大阪市建設局長の福井聡氏をお招きし、「大阪の下水道」をテーマとして御講演いただく予定です。パネルディスカッションのテーマは、「管路の維持管理」です。両企画とも、下水道業務に携わる者にとって一つの指標になるものと考えております。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、通常の会場開催に加え、オンラインによる発表及び聴講もあわせて実施いたします。本会では、国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針等に基づき制定した「研修実施における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(R2.7)」に則り、聴講者の皆様の安全を確保するとともに、安心して現地で聴講頂けるように体制を整えて実施します。申込要領11に聴講者の皆様へお願いしたいこと、事務局で実施する対策について記載していますので、会場にて聴講を希望される方は内容を確認頂いたうえで申込頂きますようお願い申し上げます。

なお、「下水道展'21大阪」も、インテックス大阪にて開催予定です。皆様方の御参加をお待ちしております。詳細は、別途開催要領等を御参照ください。

敬 具

※申込方法：第58回下水道研究発表会専用ホームページ (<https://www.jswa.jp/kenpatu/>)
よりお申し込みください。

I. 第 58 回下水道研究発表会 開催概要

1. 主 催 : 公益社団法人 日本下水道協会
2. 期 日 : 令和 3 年 8 月 17 日 (火曜日) ～19 日 (木曜日)
3. 会 場 : A T C (大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10)
4. 日 程 :

月 日	日 程	会 場	オンライン
8 月 17 日 (火)	開会式 9:30～ (下水道展合同) (研究発表会企画運 営委員長代表挨拶)	(インテックス大阪)	
	特別講演 11:00～12:00 パネルディスカッション 13:00～15:00	コンベンションルーム1 コンベンションルーム1	ライブ配信 ライブ配信
	日本語口頭発表部門 (受付 12:00～) 13:00～17:30	(受付 ロビー) 第1会場 コンベンションルーム2 (※定員 120 名) 第2会場 B1会議室(定員 50 名) 第3会場 B2会議室(定員 50 名) 第4会場 B3会議室(定員 50 名) 第5会場 B7会議室(定員 50 名) 第6会場 B8会議室(定員 50 名) 第7会場 B9会議室(定員 50 名)	ライブ配信
8 月 18 日 (水)	日本語口頭発表部門 10:00～17:30 英語口頭発表部門 11:10～16:30 (受付 9:00～)	(受付 ロビー) 第7会場を除く6会場 第7会場	ライブ配信
	ポスター発表部門 12:30～14:00	コンベンションルーム1	発表は現地のみ、オン ラインにてポスターを掲 示
8 月 19 日 (木)	日本語口頭発表部門 10:00～17:10 (受付 9:00～)	(受付 ロビー) 第1会場～第7会場	ライブ配信
	ポスター発表部門 11:45～12:00 表彰式	コンベンションルーム1	—

※定員数は変更される可能性があります。

5. 日本語口頭発表部門

(1) 発表内容及び編数

特定課題セッション(全6セッション)		32 編
セッション名		編数
①アセットマネジメント（事業管理計画）/ストックマネジメント		5
②国際協力・海外展開		4
③④震災対策（津波対策、液状化対策、放射能対応、支援対策、復興対策など） BCP・リスクマネジメント （地震・災害時のBCP、BCPの実践・効果、被害想定など）		7
⑤集中豪雨対策（都市浸水、内水氾濫のリスク評価とその被害軽減技術、 浸水予測方法とその応用、浸水ハザードマップなど）		7
⑥バイオソリッドの利活用（消化ガス利用、固形燃料化、肥料化など） /りん等有用資源の回収		5
⑦COVID-19		4
通常セッション(全11セッション)		267 編
セッション名		編数
①経営・計画		45
②雨水対策		28
③環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験		20
④地球温暖化/省エネ対策		19
⑤管路（建設）		5
⑥ポンプ場・処理場施設（建設）		13
⑦管路（維持管理）		30
⑧ポンプ場・処理場施設（維持管理）		18
⑨水処理技術		53
⑩汚泥処理技術		26
⑪計測・制御		10
口頭発表セッション合計 299 編		

(2) 発表方法

口頭による発表形式で、10 分間の口頭発表と、5 分間の質疑応答を行います。

6. 英語口頭発表部門

(1) 発表内容及び編数

セッション(全3セッション)		11 編
セッション名		編数
①新技術		2
②計画と実施事例		4
③サイエンスとテクノロジー		5

(2) 発表方法

英語で口頭による発表形式で、15 分間の口頭発表と、5 分間の質疑応答を行います。

7. ポスター発表部門（日本語・英語共通）

(1) 日時・会場

月 日	掲示時間	掲示場所	発表時間
8 月 18 日 (水)	10:00～17:30	コンベンションルーム1 及びオンライン	12:30～14:00 (会場のみ)
8 月 19 日 (木)	9:00～15:00		—

(2) 発表編数：日本語ポスター11 編、 英語ポスター 3 編

(3) 発表方法：ポスターをあらかじめ会場に掲示し、発表時間には発表者と参加者が自由に意見交換・質疑応答を行います。なお、ポスター発表セッションの表彰式は、8 月 19 日（木曜日）の 11:45～12:00 に「コンベンションルーム1」にて行います。

オンラインではポスターの掲示のみ行います。

8. 特別講演（ホームページにて事前受付）**※事前受付のみ。当日受付はありません。**

(1) 日 時：8 月 17 日（火曜日）11:00～12:00

(2) 会 場：A T C O' s 南 6 階 コンベンションルーム 1 及びライブ配信

(3) テーマ：大阪の下水道～いのち輝く未来社会のデザイン～（仮題）

(4) 講演者：元・大阪市建設局長 福井聡氏

(5) 参加費：無料

(6) 定 員：130 名（予定）

9. パネルディスカッション（ホームページにて事前受付）**※事前受付のみ。当日受付はありません。**

(1) 日 時：8 月 17 日（火曜日）13:00～15:00

(2) 会 場：A T C O' s 南 6 階 コンベンションルーム 1 及びライブ配信

(3) テーマ：管路の維持管理～持続性、強靱性の確保に向けて～（仮題）

(4) 参加費：無料

(5) 定 員：130 名（予定）

10. 聴講に当たっての注意事項

- ・口頭発表は、会場発表またはZ o o mを用いたオンライン発表になります。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各セッションに参加人数の制限を設けます。入室できない場合は、オンラインにより聴講いただきます。御了承ください。
- ・会場聴講者は、各セッション終了後、一旦退室いただきます。
- ・オンライン聴講者は、Z o o mの「Q & A」機能で質問をしていただきます。

11. 下水道研究発表会交流会

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、密接な環境を避ける必要があることから、今回は中止といたします。

12. その他

現時点においては上記及びⅡのとおり開催を行う予定ですが、**新型コロナウイルス感染症拡大等に伴い会場開催が困難とされた場合、オンラインのみによる開催**となる可能性があります。

開催方法の変更等につきましては、改めてホームページにてお知らせいたします。

第 58 回下水道研究発表会専用ホームページ：<https://www.jswa.jp/kenpatu/>

Ⅱ. 第 58 回下水道研究発表会 申込要領

1. 参加費(1名につき)

(金額は税込)

区分	参加費			
	3 日券 ※1	1 日券 ※2	ライブ配信※3	発表者※4
①正会員 (地方公共団体、公社等)	後納 15,000 円	後納 7,000 円	後納 15,000 円	後納 10,000 円
②特別会員(個人)				
③関係官庁及び同付属研究 機関、大学等の教授等				
④賛助会員(会社)	前納 2,000 円	—	前納 2,000 円	—
⑤学生(上記③に該当する大 学等の教授等の教室に所属 している者)				
⑥非会員				
募集予定人数	200 名	1 日当たり 200 名	—	—

- ※1. 3日券は8月17日～19日までの開催期間中すべての日に参加が可能です。ライブ配信でも聴講できます。
 ※2. 1日券は8月17日～19日までの開催期間のいずれか1日のみ参加が可能です。ライブ配信でも聴講できます。
 ※3. ライブ配信は3日間聴講可能です。会場での聴講はできません。
 ※4. 発表者は既に登録済みで、再度申込をする必要がありませんのでご注意ください。

2. 申込方法

本会ホームページ(<https://www.jswa.jp/kenpatu/>)からお申し込みください。**※当日受付は行いません。**

会場聴講は、密を避けるため、会議室等の定員を減らし人数制限を行いますので、先着順とさせていただきます。

会場聴講をお選びいただいても、会議室の定員を超え入室できない場合には、ライブ配信での聴講をお願いいたします(会場内では、フリースペース(人数制限あり)にて聴講いただけます)。

3. 事前申込期限：令和3年8月6日(金曜日) 16:00 **※事前申込のみ。当日受付はありません。**

4. 参加費の支払方法

(1. ①～④の方) 申込確認ページより請求書をダウンロードし、研究発表会終了後、記載の期日までにお支払いください。申込の際、請求書の宛名等の御要望は必ず記載ください。

5. 参加方法について

会場聴講者は、申込確認ページより参加証をダウンロードし、印刷したものを当日御持参ください。会場受付にて入場証と引き換えます。

ライブ配信聴講者は、お送りする聴講用URL、ID、パスワードにより、御自身のPC等からインターネット接続をしてください。

なお、事前に接続テストの機会を設定する予定です。詳細はホームページにてお知らせいたします。

6. 講演集頒価

日本語講演集 会員価格(上記区分①②④⑤もしくは③⑥の発表者) 1冊 7,500 円
非会員価格 1冊 15,000 円
英語講演集:会員、非会員ともに1冊 1,000 円

7. 講演集(第 58 回下水道研究発表会・論文集)について

(1) 日本語部門の講演集は、当会ホームページより御購入ください。

下水道協会ホームページ「図書の購入」 <http://www.jswa.jp/publication/book-purchase/>

※会場での販売はいたしません。

(2) 英語部門の講演集は、下記メールアドレスに所属団体、氏名、送付先住所、電話番号、冊数を記載の上、お申し込みください。

申込メールアドレス kenpatu@gesuikyou.jp

※会場での販売はいたしません。 発表者には事前に送付いたします(申込不要)。

(3) 発行時期は、7月中旬を予定しております。

8. 申込後の参加辞退について

申込確認ページより行ってください。**辞退締切期限(8月10日(火曜日))後の辞退は費用が発生します**ので、発表会終了後に申込確認ページより請求書をダウンロードし、記載の期日までにお支払いください。

9. 受講証明書の発行について

各セッションの受講証明書の発行サービスを行います。申込書をホームページよりダウンロードし、会場聴講につきましては、各会場入口で入退室の「確認印」の交付を受け、総合受付に提出してください。研究発表会終了後に「受講証明書」を郵送いたします。**各セッションを途中退出した場合、退室時の押印は交付いたしません。**

ライブ配信による受講者については、別途メールにて御提出ください。

10. 発表証明書の発行について

発表者申込確認ページよりダウンロードください。

11. 新型コロナウイルス感染症対策への取組みについて

(詳細は、協会ホームページの「研修実施における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を御覧ください。)

(1) 参加者の皆様へのお願い

- ・参加中はマスクの着用をお願いします。
- ・所定の場所(発表会場、トイレ)以外に立ち入らないでください。
- ・37.5度以上の発熱症状や軽い風邪症状(のどの痛み、咳、全身倦怠感)等があった場合は参加を御遠慮ください。
- ・次の事項に該当する方は受講を御遠慮ください。
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要と発表されている国・地域等への渡航、並びに当該在住者との濃厚接触がある場合

- ・会場入場時の検温に御協力をお願いします。
- ・こまめな手指消毒や手洗い、うがい等をお願いします。手を拭く際は個人用のタオル等を使用してください。
- ・以上の内容の他、新型コロナウイルス感染症対策に基づく事務局からの指示に従わない場合、退室を求める場合があります。

(2)事務局職員が実施する対策

- ・研修業務に従事する職員は検温を行い、37.5 度以上の発熱症状やのどの痛み、咳、全身倦怠感等の症状がある場合、会場への入室をしません。
- ・会場での役割分担を決めて感染症対策に取り組みます。
- ・マスクを着用します。
- ・こまめに手指消毒又は手洗いを行います。
- ・受付時、セッション開始時、休憩時間等の機会に事務局より、こまめな手指消毒や手洗いを呼びかけます。
- ・受付は密にならないように行うため、当日の聴講申込、講演集販売等はいりません。

12. 問い合わせ先

公益社団法人 日本下水道協会 技術研究部研修課 研究発表会係

TEL:03-6206-0284 FAX:03-6206-0796

E-mail : kenpatu@gesuikyou.jp

第 58 回下水道研究発表会専用ホームページ : <https://www.jswa.jp/kenpatu/>

第58回下水道研究発表会セッション一覧

令和3年7月1日現在

	セッション名	編数	発表日	時間	会場
特定課題セッション	S-1 アセットマネジメント/ストックマネジメント	5	8月17日	15:10～16:30	第7会場
	S-2 国際協力・海外展開	4	8月17日	13:00～14:05	第6会場
	S-3、4 震災対策、BCP・リスクマネジメント	7	8月17日	13:00～14:50	第7会場
	S-5 集中豪雨対策	7	8月17日	13:00～14:50	第5会場
	S-6 バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収	5	8月17日	15:10～16:30	第5会場
	S-7 COVID-19	4	8月18日	13:00～14:05	第2会場
通常セッション	N-1-1 経営・計画(1)	8	8月17日	15:20～17:30	第1会場
	N-1-2 経営・計画(2)	7	8月18日	14:25～16:15	第2会場
	N-1-3 経営・計画(3)	7	8月18日	10:00～11:50	第2会場
	N-1-4 経営・計画(4)	7	8月17日	13:00～14:50	第2会場
	N-1-5 経営・計画(5)	8	8月19日	10:00～12:10	第2会場
	N-1-6 経営・計画(6)	8	8月19日	13:30～15:40	第2会場
	N-2-1 雨水対策(1)	6	8月18日	14:40～16:15	第3会場
	N-2-2 雨水対策(2)	8	8月19日	10:00～12:10	第3会場
	N-2-3 雨水対策(3)	7	8月19日	13:10～15:00	第3会場
	N-2-4 雨水対策(4)	7	8月19日	15:20～17:10	第3会場
	N-3-1 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験(1)	7	8月18日	15:05～16:55	第4会場
	N-3-2 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験(2)	7	8月17日	14:25～16:15	第6会場
	N-3-3 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験(3)	6	8月18日	13:10～14:45	第4会場
	N-4-1 地球温暖化/省エネ対策(1)	6	8月18日	10:30～12:05	第6会場
	N-4-2 地球温暖化/省エネ対策(2)	6	8月18日	13:10～14:45	第6会場
	N-4-3 地球温暖化/省エネ対策(3)	7	8月18日	15:05～16:55	第6会場
	N-5 管路(建設)	5	8月19日	10:30～11:50	第7会場
	N-6-1 ポンプ場・処理場施設(建設)(1)	4	8月19日	10:30～11:35	第4会場
	N-6-2 ポンプ場・処理場施設(建設)(2)	4	8月19日	13:00～14:05	第4会場
	N-6-3 ポンプ場・処理場施設(建設)(3)	5	8月19日	14:25～15:45	第4会場
	N-7-1 管路(維持管理)(1)	6	8月18日	10:30～12:05	第5会場
	N-7-2 管路(維持管理)(2)	6	8月18日	13:10～14:45	第5会場
	N-7-3 管路(維持管理)(3)	5	8月18日	15:05～16:25	第5会場
	N-7-4 管路(維持管理)(4)	7	8月19日	10:00～11:50	第5会場
	N-7-5 管路(維持管理)(5)	6	8月19日	13:30～15:05	第5会場
	N-8-1 ポンプ場・処理場施設(維持管理)(1)	6	8月17日	13:00～14:35	第4会場
	N-8-2 ポンプ場・処理場施設(維持管理)(2)	6	8月17日	14:55～16:30	第4会場
	N-8-3 ポンプ場・処理場施設(維持管理)(3)	6	8月18日	10:30～12:05	第4会場
	N-9-1 水処理技術(1)	8	8月18日	12:50～15:00	第1会場
	N-9-2 水処理技術(2)	8	8月18日	15:20～17:30	第1会場
	N-9-3 水処理技術(3)	7	8月18日	10:00～11:50	第1会場
	N-9-4 水処理技術(4)	8	8月19日	10:00～12:10	第1会場
	N-9-5 水処理技術(5)	7	8月17日	13:00～14:50	第1会場
	N-9-6 水処理技術(6)	8	8月19日	13:30～15:40	第1会場
	N-9-7 水処理技術(7)	7	8月17日	15:10～17:00	第2会場

第58回下水道研究発表会セッション一覧

令和3年7月1日現在

	セッション名	編数	発表日	時間	会場
通常セッション	N-10-1 汚泥処理技術（1）	7	8月17日	13：00～14：50	第3会場
	N-10-2 汚泥処理技術（2）	7	8月17日	15：10～17：00	第3会場
	N-10-3 汚泥処理技術（3）	5	8月18日	13：00～14：20	第3会場
	N-10-4 汚泥処理技術（4）	7	8月18日	10：00～11：50	第3会場
	N-11-1 計測・制御（1）	6	8月19日	13：30～15：05	第6会場
	N-11-2 計測・制御（2）	4	8月19日	11：00～12：05	第6会場
英語セッション	E-1 新技術	2	8月18日	11：10～11：55	第7会場
	E-2 計画と実施事例	4	8月18日	15：05～16：30	第7会場
	E-3 サイエンスとテクノロジー	5	8月18日	13：00～14：45	第7会場
ポスター発表（日本語）		11	8月18日	12：30～14：00	コンベンションルーム1
ポスター発表（英語）		3	8月18日	12：30～14：00	コンベンションルーム1

※口頭発表の時間は、日本語セッション：1編15分、英語セッション：1編20分です。

※プログラムの最終版は、7月中旬にホームページで公開予定です。

第58回下水道研究発表会 ポスター部門プログラム（日本語）

令和3年8月18日（水曜日）

ポスター発表会場:O's南棟6階 コンベンションルーム1

令和3年6月1日現在

発表番号	時 間	発 表 題 名	所 属	氏 名
P — 1	12:30 ～ 14:00	回転繊維ユニットRBCの異なる原水に対する処理性能評価	東芝インフラシステムズ(株)	柿 沼 建 至
P — 2	12:30 ～ 14:00	アナモックス菌群の大量培養と一槽式アナモックス処理の検討	東洋大学大学院	岩 本 京 太
P — 3	12:30 ～ 14:00	汚泥の菌叢解析および活性測定による排水処理システム安定性評価	三菱ケミカル(株)	磯 部 和 美
P — 4	12:30 ～ 14:00	下水処理施設におけるPRTTR物質の除去率調査および簡易リスク評価	国立研究開発法人土木研究所	高 沢 麻 里
P — 5	12:30 ～ 14:00	下水処理水と礫を使用した非循環式水耕によるカリウム低減作物の栽培	鹿児島大学	渡 部 由 香
P — 6	12:30 ～ 14:00	水温法による雨天時浸入水の効率的なスクリーニング手法の提案	中日本建設コンサルタント(株)	長 谷 川 孝
P — 7	12:30 ～ 14:00	土地区画整理手法により施工された下水道管渠における劣化特性の考察	管清工業(株)	加 賀 谷 文 孝
P — 8	12:30 ～ 14:00	新型コロナウイルスの感染拡大が確認されたクルーズ客船の排水受入れ対応について	横浜市	浅 田 裕 介
P — 9	12:30 ～ 14:00	高濃度鉄アルミ凝集剤を用いた水処理と下水再生水利用の検討	日鉄鉱業(株)	駒 井 美 穂
P — 10	12:30 ～ 14:00	パイル担体活性汚泥法による余剰汚泥の減容化～ラボスケール実験による検証～	立命館大学	鍛 冶 龍 馬
P — 11	12:30 ～ 14:00	創エネルギー型焼却システムにおけるAI適用による自動化技術について	月島機械(株)	深 澤 淳 基

第58回下水道研究発表会 ポスター部門プログラム（英語）

令和3年8月18日（水曜日）

ポスター発表会場：O's南棟6階 コンベンションルーム1

令和3年6月1日現在

発表番号	時 間	発 表 題 名	所 属	氏 名
P — 1	12:30 ～ 14:00	Investigation of Countermeasures on the Influence of Sea Level Rise due to Climate Change on Sewerage	(公財) 日本下水道新技術機構	金子 陽輔
P — 2	12:30 ～ 14:00	Microalgae culture using sewage resources under low light transmission conditions	国立研究開発法人 土木研究所	山崎 廉予
P — 3	12:30 ～ 14:00	Evaluation of Ozonation on Removal Efficiency of Antibiotic Resistant Bacteria and Genes, and Chemical Indicators in Secondary Effluent at a Sewage Treatment Plant	京都大学	朴 耿洙

第58回下水道研究発表会 口頭発表部門プログラム

令和3年6月1日現在

— 令和3年8月17日（火曜日） 午後の部 —

第1会場（コンベンションルーム2）

N-9-5 水処理技術（5） 13：00～14：50（7編）
N-9-5-1 水 i n g（株） 隋 鵬哲 下水処理における人工知能モデルの構築及び処理水水質の予測精度検討
N-9-5-2 （株）ウォーターエージェンシー 柏崎 拓成 下水処理場におけるA Iを活用した予測や画像診断について
N-9-5-3 （株）明電舎 松田 祐毅 最初沈殿池における高効率エネルギー回収システムの開発
N-9-5-4 （株）安川電機 藤原 翔 A Iを活用した水処理制御支援技術の雨天時における予測精度検証
N-9-5-5 （株）明電舎 LAI MINH QUAN Aステージでの最初沈殿池・余剰汚泥一括処理によるエネルギー回収増大効果の検討
N-9-5-6 メタウォーター（株） 初山 祥太郎 I C T・A Iを活用した単槽型硝化脱窒プロセスによる水処理性能の長期実証
N-9-5-7 メタウォーター（株） 中 大輔 I C T・A Iを活用した単槽型硝化脱窒プロセスにおける風量制御の性能及び特性

第2会場（B1会議室）

N-1-4 経営・計画（4） 13：00～14：50（7編）
N-1-4-1 名古屋市 坂野 由佳 名古屋市下水道科学館リニューアル及びデザインマンホール蓋を通じた広報について
N-1-4-2 川崎市 和地 妙 川崎G J（下水道女子）のプレゼンス向上に向けた取組
N-1-4-3 横浜市 岡部 葵 除害施設に関する事業者向け講習会及び届出のオンライン化の推進について
N-1-4-4 日本大学 森田 弘昭 有機系廃棄物の水系処理による最適化 - 厨芥の自家処理としてのD Pの評価 -
N-1-4-5 日本大学 鈴木 藍 有機系廃棄物の水系処理による最適化 - 管渠内浄化によるD P排水の負荷量変化 -
N-1-4-6 国土技術政策総合研究所 濱田 知幸 紙オムツの基礎的情報の整理
N-1-4-7 （株）神鋼環境ソリューション 田中 裕大 小規模の地方公共団体を対象とした技術ニーズや技術的課題等に関する調査

N-1-1 経営・計画（1） 15：20～17：30（8編）
N-1-1-1 堺市 足立 正行 下水道管路施設維持管理等の包括民間委託の効果と課題
N-1-1-2 横浜市 鈴木 啓太郎 包括的民間委託導入検討におけるサウンディング型市場調査に係る取組について
N-1-1-3 横浜市 高橋 克典 中大口径管の包括的民間委託の導入に向けた検討内容について
N-1-1-4 日本水工設計（株） 武井 弘 紫波浄化センターにおける包括的民間委託の評価業務について
休憩
N-1-1-5 浜松市 杉本 潤次 西遠コンセッション事業の導入に伴う改築に関するモニタリングの実施について
N-1-1-6 東京都 後藤 裕之 八王子市単独処理区の流域下水道への編入事業
N-1-1-7 （公財）日本下水道新技術機構 高牟禮 綾 下水道事業の広域化・共同化におけるI C T活用の検討手順及び評価方法
N-1-1-8 （公財）日本下水道新技術機構 成田 篤史 「下水道管路施設の包括的民間委託導入」に関する調査研究

N-9-7 水処理技術（7） 15：10～17：00（7編）
N-9-7-1 大阪市 甲 憲司 合流式下水道改善対策に伴う雨天時簡易放流水に対する臭素消毒設備の導入について
N-9-7-2 クリアウォーターO S A K A（株） 森山 慎也 雨天時における処理水量増大に対応できる最終沈殿池の流出施設について
N-9-7-3 水 i n g（株） 北澤 卓也 スクリーン型機械濃縮機を用いた新規油除去技術の開発
N-9-7-4 京都大学 後藤 雅貴 フォトグラニュールによる下水処理および放射性物質の除去特性
N-9-7-5 国立研究開発法人土木研究所 對馬 育夫 下水中の1、4ージオキサンの活性汚泥連続処理における共代謝細菌の菌叢解析
N-9-7-6 国土技術政策総合研究所 長寄 真 下水中の微生物叢と有機物除去等の関連性把握の試み
N-9-7-7 東京都 松縄 愛 最終沈殿池への凝結剤添加による簡易放流時の汚濁負荷削減

第3会場（B2会議室）

N-10-1 汚泥処理技術（1） 13：00～14：50（7編）
N-10-1-1 三菱化工機（株） 栗原 元 高効率消化システムの運転状況についての報告
N-10-1-2 長岡技術科学大学 久住 拓矢 前処理余剰汚泥の連続式嫌気性消化実験（第2報）
N-10-1-3 国立研究開発法人土木研究所 大本 拓 全国における季節・規模別の消化ガスの発生・利用・処分状況
N-10-1-4 JFEエンジニアリング（株） 山本 浩己 維持管理性向上を目的とした鋼板製消化槽の実証研究
N-10-1-5 （株）石垣 林 準人 鋼板製消化タンクを用いた中温消化技術の開発に関する研究
N-10-1-6 メタウォーター（株） 藤原 雅人 余剰汚泥集中加温型消化プロセスによる消化能力向上効果
N-10-1-7 （公財）日本下水道新技術機構 熊野 智之 伊万里市保有エネルギー高度活用型汚泥処理・資源化システムに関する成果報告

第4会場（B3会議室）

N-8-1 ポンプ場・処理場施設（維持管理） （1） 13：00～14：35（6編）
N-8-1-1 福井市 奥野 一 多降雨・降雪地域における合流式下水道処理場施設の運転管理とコスト削減の取組
N-8-1-2 （公財）日本下水道新技術機構 秋吉 秀樹 主ポンプの経年劣化による消費電力への影響について
N-8-1-3 東京都下水道サービス（株） 白鳥 颯太郎 光ネットワークを活用した雨水ポンプ実負荷運転時現場点検の効率化
N-8-1-4 福岡市 甲斐 晋二 下水処理場やポンプ場を一元的に監視するシステム（FORVIS）の構築について
N-8-1-5 （公財）日本下水道新技術機構 藤原 尚洋 分流式下水道における雨天時の運転管理に関する工夫
N-8-1-6 （株）NJS 水本 達也 IoTセンサーによる広域的な設備状態監視システムの開発

N-10-2 汚泥処理技術（2） 15：10～17：00（7編）
N-10-2-1 巴工業（株） 植村 英之 高効率型回転加圧濃縮脱水ユニットの処理性能
N-10-2-2 （株）石垣 枅岡 英司 下水汚泥由来繊維添加の消化汚泥脱水における簡易脱水を用いた実機含水率予測手法
N-10-2-3 （株）石垣 石川 聖人 実設備における圧入式スクリーブレス脱水機の省エネルギー性の検証
N-10-2-4 月島機械（株） 倭 常郎 加温濃縮脱水システムにおける返流水の性状
N-10-2-5 石垣メンテナンス（株） 喜多 勇太 指定管理業務におけるIoT導入脱水機の最適運転
N-10-2-6 国立研究開発法人土木研究所 山崎 廉予 未利用の植物系バイオマスの脱水助剤利用における効果
N-10-2-7 水ing（株） 飯倉 智弘 AIを活用した脱水設備の運転管理支援システムの開発

N-8-2 ポンプ場・処理場施設（維持管理） （2） 14：55～16：30（6編）
N-8-2-1 東京都下水道サービス（株） 篠田 有吾 防食陽極アルミ棒を用いた放流渠滞留水排水ポンプの腐食抑制対策
N-8-2-2 東京都 高橋 勇太 凍結工法を用いた止水困難箇所における排水ポンプ設備の補修について
N-8-2-3 広島市 森桶 修貴 処理施設（流入水路）供用下における防食工事事例の報告
N-8-2-4 大成建設（株） 宮原 茂禎 下水道施設において7年間供用した耐硫酸コンクリートの健全性評価
N-8-2-5 国立研究開発法人土木研究所 宮本 豊尚 異なる下水処理方法が処理水中の硫化水素濃度及び侵食性遊離炭酸濃度に与える影響
N-8-2-6 国立研究開発法人土木研究所 高橋 啓太 下水道施設に用いられる防食被覆材の有機酸による影響の検討

第5会場（B7会議室）

S-5 集中豪雨対策 13:00～14:50（7編）
S-5-1 日本水工設計（株） 池田 啓輔 豪雨災害を乗り越えていくために（令和2年7月豪雨災害の経験を生かして）
S-5-2 横浜市 堀田 誠治 内水ハザードマップ更新の取組について
S-5-3 関西大学 尾崎 平 内水氾濫による地下空間浸水と避難
S-5-4 東京都 加藤 千昌 流出解析シミュレーションによる豪雨災害に対する下水道施設整備の効果検証
S-5-5 日本工営（株） 麦田 藍 CFDを用いたマンホール蓋浮上に関する解析
S-5-6 東京大学 古米 弘明 無人航空機による空中写真情報を活用した用排水路を含む氾濫解析モデルの構築
S-5-7 （株）石垣 山科 健一 平成30年7月豪雨における丹波篠山市京口ポンプ場の浸水対策のモデル評価

第6会場（B8会議室）

S-2 国際協力・海外展開 13:00～14:05（4編）
S-2-1 日本下水道事業団 辻 幸志 日本下水道事業団における海外プロジェクト支援業務の課題と今後の展望
S-2-2 横浜市 井潤 慶 ベトナム国ハノイ市における下水道事業運営能力向上のための公民連携した技術協力
S-2-3 川崎市 中村 典昭 川崎市における官民連携による国際展開～インドネシア・パンドン市での取組～
S-2-4 国立研究開発法人土木研究所 山下 洋正 ISO/TC282における再生水利用の国際規格の2021年の開発状況について

S-6 バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収 15:10～16:30（5編）
S-6-1 秋田県 今野 新平 超高効率固液分離技術導入による消化ガス発生量の影響評価
S-6-2 日本下水道事業団 井上 善之 地域バイオマス資源を下水処理場において集約処理する際の影響調査報告
S-6-3 日本下水道事業団 宮部 由彩 下水汚泥消化のサツマイモ添加によるエネルギー回収に関する基礎調査
S-6-4 日本下水道事業団 横田 祐介 下水及び処理水を利用したサツマイモの多層栽培法についての調査
S-6-5 大阪大学 井上 大介 余剰汚泥に蓄積したポリヒドロキシアルカン酸の効率回収法の検討

N-3-2 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験（2） 14:25～16:15（7編）
N-3-2-1 国立研究開発法人土木研究所 服部 啓太 ヒメダカの動画解析による下水処理水の生物影響把握に関する基礎的検討
N-3-2-2 国立研究開発法人土木研究所 村田 里美 下水中の硝化阻害物質とアンモニア酸化細菌の関係
N-3-2-3 川崎市 宇留賀 友輝 大腸菌数分析方法の比較検討
N-3-2-4 国土技術政策総合研究所 松橋 学 下水を対象とした大腸菌測定方法の室間精度に関する研究
N-3-2-5 （株）建設技術研究所 石川 美宏 遺伝子解析技術を活用した放線菌発生原因調査
N-3-2-6 国立研究開発法人土木研究所 谷藤 溪詩 クロロホルムを用いない下水汚泥中の脂質の分析手法
N-3-2-7 川崎市 東野 祐眞 下水道における未規制物質の排出量削減に向けた取組

第7会場（B9会議室）

S-3、4 震災対策、BCP・リスクマネジメント 13:00～14:50（7編）
S-3、4-1 横浜市 黒羽根 能生 下水道管きょの逆流防止対策（横浜市）
S-3、4-2 横浜市 小林 昌平 北部下水道センターにおける耐水化手法について
S-3、4-3 （株）東京設計事務所 馬場 康平 新設ポンプ場の耐津波設計
S-3、4-4 日本水工設計（株） 茂木 一喜 K浄化センターにおける災害査定支援業務と浸水対策案検討事例について
S-3、4-5 （株）東京設計事務所 中嶋 祥太 南海トラフ巨大地震の発生に備えた減災対策基本設計
S-3、4-6 横浜市 田淵 史也 横浜市下水道BCPの新たな取り組みについて
S-3、4-7 クリアウォーターOSAKA（株） 近藤 勝 BCPとしての仮想デスクトップシステム構築及び基幹システム仮想化について

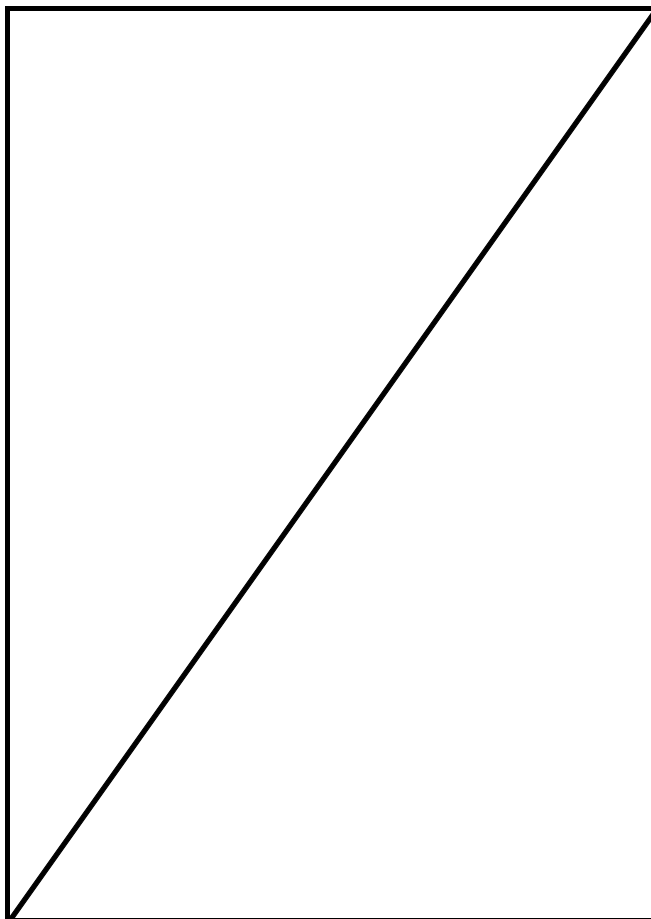
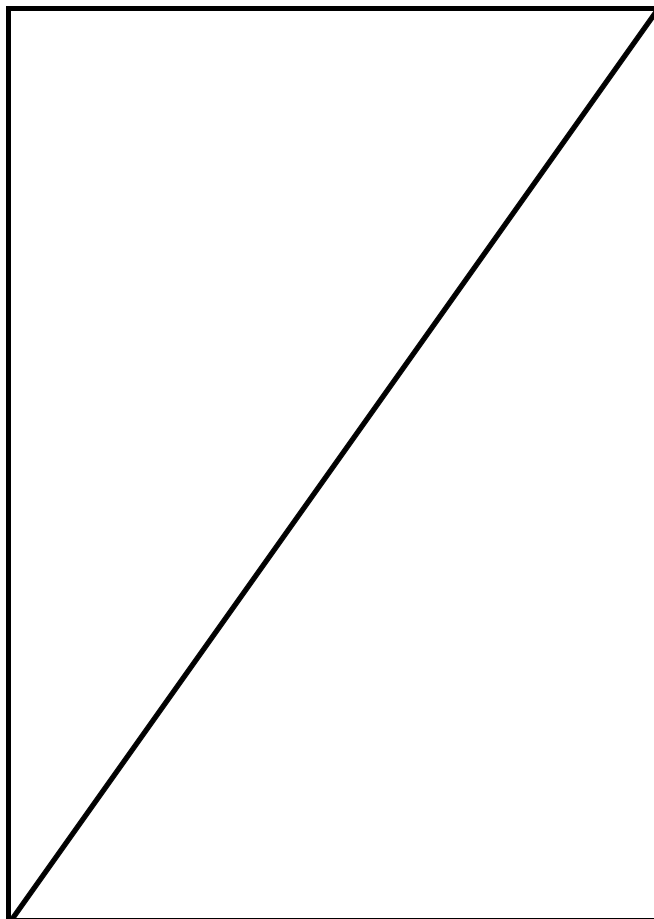
S-1 アセットマネジメント/ストックマネジメント 15:10～16:30（5編）
S-1-1 日本下水道事業団 山本 竜也 包括支援業務（施設機能確認）のストックマネジメント調査への活用に関する提言
S-1-2 岡崎市 上野 眞史 新たなストックマネジメントに向けた取組み持続可能な下水道事業の実現を目指して
S-1-3 熊本市 佐藤 佑磨 熊本市型アセットマネジメントシステム構築に向けた共同研究の取組み
S-1-4 日本水工設計（株） 辻 諭 情報活用に向けたデータ整備～データ駆動型事業運営の実現に向けて～
S-1-5 管清工業（株） 大石 真由 小規模自治体におけるストックマネジメント計画と経営戦略の同時策定事例

第1会場（コンベンションルーム2）

N-9-3 水処理技術（3） 10：00～11：50（7編）
N-9-3-1 大阪市 須田 誠人 アナモックス施設運転において阻害となる水温と原水pHの 管理に係る検討
N-9-3-2 日本下水道事業団 相川 えりか アナモックス反応を組込んだ新たな下水処理プロセスの窒素 除去性能検証
N-9-3-3 クリアウォーターOSAKA（株） 有菌 理沙 アナモックス処理施設におけるグラニュール増殖状況と高水 温期の処理状況
N-9-3-4 クリアウォーターOSAKA（株） 前田 俊介 アナモックス処理施設における長期間停止時の運転管理手法
N-9-3-5 三菱化工機（株） 酒見 伸一 革新的な省エネ・創エネ生活排水処理システムの開発
N-9-3-6 オルガノ（株） 三宅 将貴 初沈流入水を使用した好気性グラニュールの形成方法
N-9-3-7 メタウォーター（株） 武田 茂樹 流入下水アナモックス処理における低DO操作による亜硝酸 蓄積特性

第2会場（B1会議室）

N-1-3 経営・計画（3） 10：00～11：50（7編）
N-1-3-1 中小下水道未来構想研究所 高橋 正宏 費用の分布から見た小規模下水処理場の維持管理の現状
N-1-3-2 有限責任監査法人トーマツ 香田 浩一 経営戦略の概況とPDCAサイクル定着に向けた考察
N-1-3-3 （株）日水コン 山本 整 フランスのDSP契約事例における下水道管路管理の業務指 標について
N-1-3-4 京都市 清水 康友 京都市における長期構想の検討～次世代に引き継ぐ下水道の トランスフォーム～
N-1-3-5 神戸市 岡野内 晃代 下水道×アート×SDGsプロジェクト
N-1-3-6 東京都下水道サービス（株） 中島 亮 AR技術を活用した効果的な人材育成
N-1-3-7 日本下水道事業団 高村 和典 研修のオンライン化の実施事例

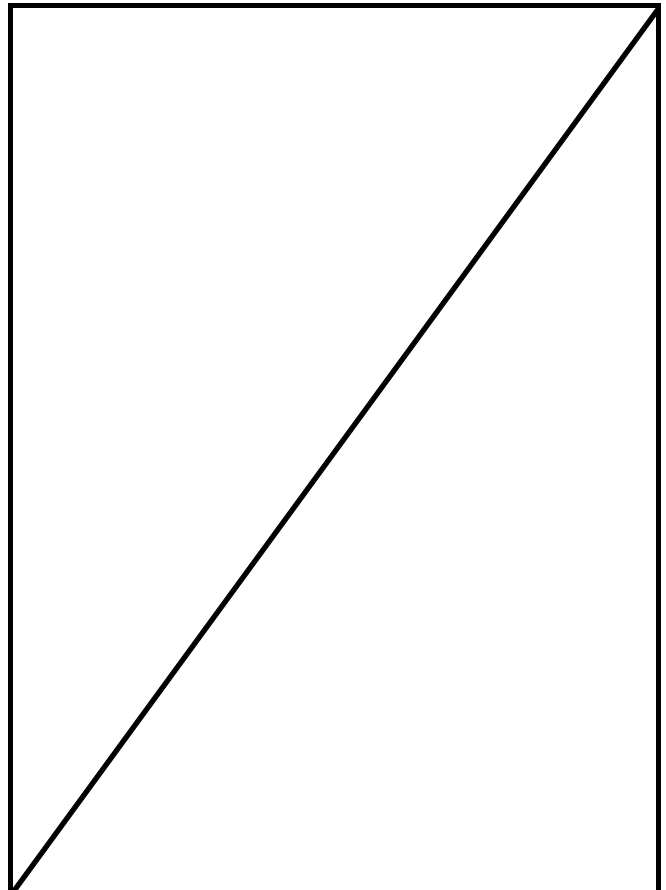
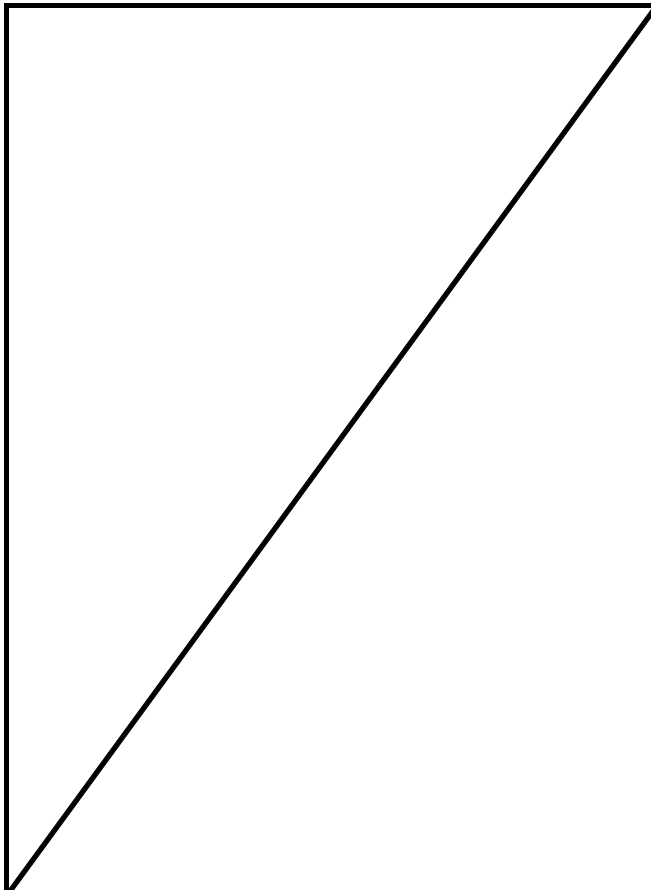


第3会場（B2会議室）

N-10-4 汚泥処理技術（4） 10：00～11：50（7編）
N-10-4-1 札幌市 又村 友幸 水再生プラザにおける大雨時の圧送汚泥流量低下の原因調査
N-10-4-2 （公財）愛知水と緑の公社 若尾 貞仁 圧力計測式粘度測定装置および実管による濃縮汚泥の流動特性について
N-10-4-3 日本下水道事業団 鈴木 博子 高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術の最適化
N-10-4-4 月島機械（株） 日良 聡 吸着剤捕集－溶媒脱着法を用いた消化ガス中のシロキサン定量法の検討
N-10-4-5 メタウォーター（株） 丹 雅史 新型スクリー濃縮機に関する基礎的検討（その2）
N-10-4-6 東芝インフラシステムズ（株） 永森 泰彦 オゾン／過酸化水素処理による汚泥可溶化の実証試験（第2報）
N-10-4-7 （公財）埼玉県下水道公社 川崎 豊 段階的高度処理導入によるリンの挙動と消化汚泥を由来とするMAPの生成状況調査

第4会場（B3会議室）

N-8-3 ポンプ場・処理場施設（維持管理） （3） 10：30～12：05（6編）
N-8-3-1 東京都 田中 祐紀 環境の異なる地域に立地した2つの施設における振動・騒音対策の効果
N-8-3-2 東京都下水道サービス（株） 兼子 清隆 導水式無閉塞水流発生装置（AS）のスカム堆積抑制効果についてその2
N-8-3-3 東京都下水道サービス（株） 中山 尚人 故障分析手法を活用した除じん設備及び揚砂設備の不具合改善
N-8-3-4 茨城県 小笠原 一樹 猿島中継ポンプ場における鉄含有硝酸塩注入率の最適化
N-8-3-5 横浜市 下村 聡子 汚泥返流水処理施設における経年劣化の現状と対策について
N-8-3-6 横浜市 栗原 啓輔 水再生センター進入橋橋脚の耐震補強工事に関する事例紹介

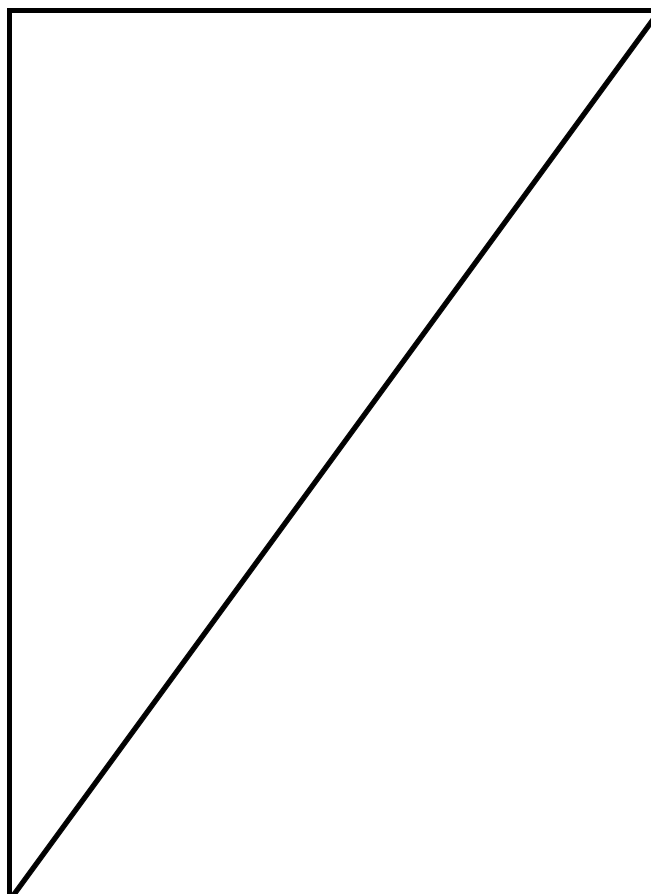
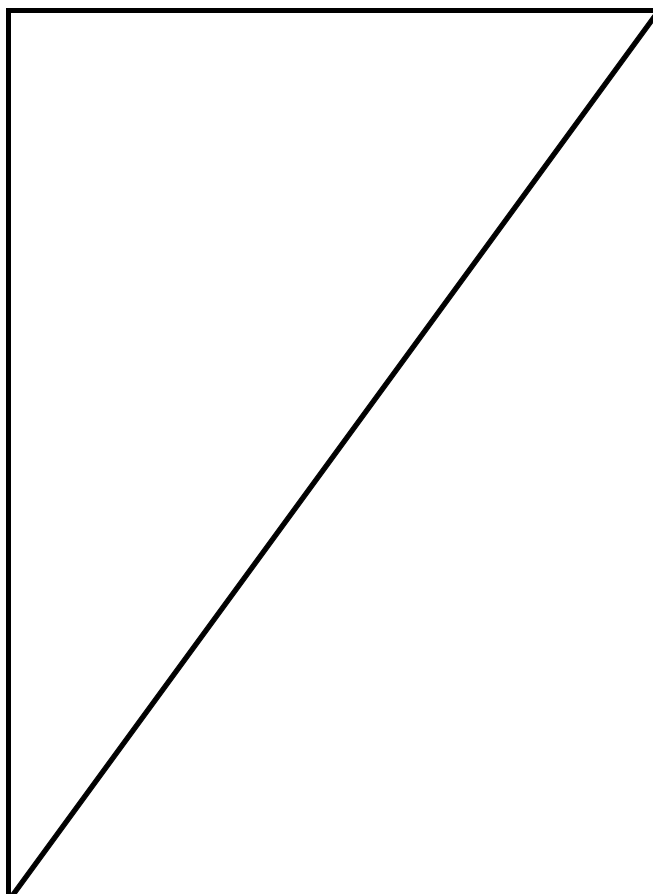


第5会場（B7会議室）

N-7-1 管路（維持管理）（1） 10：30～12：05（6編）
N-7-1-1 東京都下水道サービス（株） 原田 芳朗 東京都区部の幹線再構築整備に関する調査事例報告
N-7-1-2 東京都 木村 聡志 都心部の腐食環境下にある長大伏越し幹線管渠の計画的な防食・清掃
N-7-1-3 函館市 藤堂 俊介 下水道管きよの劣化にもたらす既設管径および流量の傾向調査
N-7-1-4 大阪府 梨木 陽平 腐食環境下における管渠の予防保全型維持管理について
N-7-1-5 （株）日水コン 東山 佳明 機械学習を用いた下水道管渠の劣化箇所予測
N-7-1-6 東京都下水道サービス（株） 松平 晃典 下水道管きよ内に発生する侵入石の実態調査と効率的な維持管理について

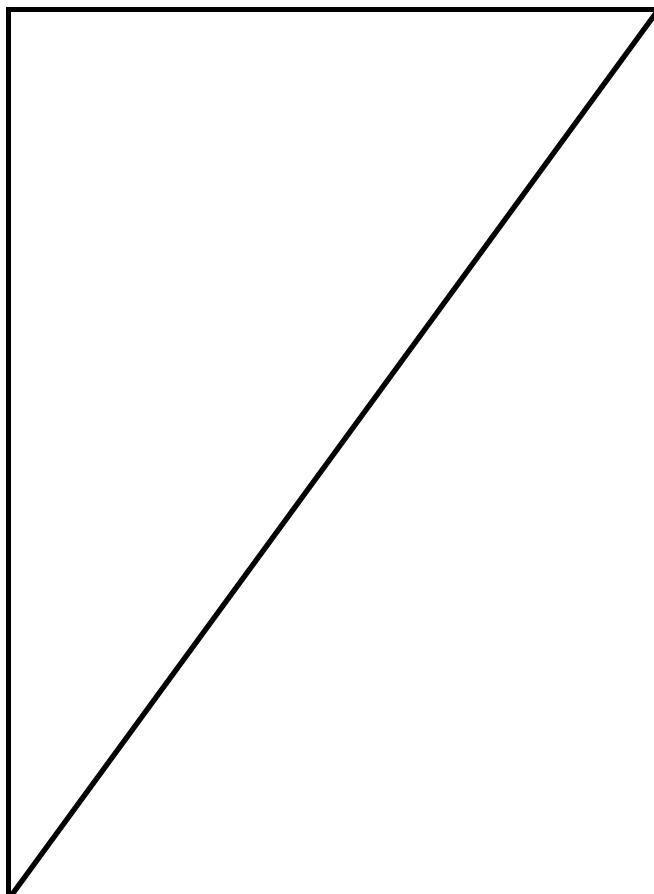
第6会場（B8会議室）

N-4-1 地球温暖化/省エネ対策（1） 10：30～12：05（6編）
N-4-1-1 東京都 土屋 あゆみ 東京都における下水熱利用拡大に向けた新たな取組について
N-4-1-2 長岡技術科学大学 窪田 匠 下水放流水を熱源とした塩素混和池からの採熱と冷温熱回収量の推算
N-4-1-3 熊本市 後藤 弘明 家畜排せつ物堆肥化で発生する分離液の受入れによる浄化センターへの影響について
N-4-1-4 （株）NJS 庄司 有里 下水道の広域化・共同化における脱炭素社会への寄与に関する一考察
N-4-1-5 山口大学大学院 遠藤 宣隆 微生物燃料電池と逆電気透析の複合化による創エネ型下水処理プロセスの構築
N-4-1-6 京都市 西原 正博 微生物燃料電池の下水処理施設への適用実験



第7会場（B9会議室）

E-1 新技術 11:10～11:55（2編）
E-1-1 京都大学 祖 夢澤 Development of SNAP process by Periodic Addition of Anammox Biomass for Mainstream Wastewater Treatment
E-1-2 The University of Tokyo Tiffany Joan Sotelo Estimation of Organic Pollutant Load Reductions by Enhanced In-sewer Purification Technologies



第1会場（コンベンションルーム2）

N-9-1 水処理技術（1） 12：50～15：00（8編）
N-9-1-1 東京都下水道サービス（株） 内原 晴日 次亜塩素酸ナトリウム添加による汚泥中のりん放出抑制効果
N-9-1-2 北九州市 森永 葉子 疑似嫌気好気法運転におけるりん除去とPHAの挙動について
N-9-1-3 茨城県 山下 和人 りん除去用凝集剤の節減と処理水質の確保に関する調査研究
N-9-1-4 大阪市 佐藤 隆弘 返送汚泥中の硝酸性窒素が生物学的りん除去に与える影響について
休憩
N-9-1-5 京都市 増田 光佑 ステップ流入式多段硝化脱窒法の汚泥返送比低減によるりん除去の改善（二軸管理）
N-9-1-6 京都市 安倉 直希 AO法における攪拌機間欠運転によるりん除去率向上と省エネの両立（二軸管理）
N-9-1-7 名古屋市 稲葉 翔也 宝神水処理センターのりん処理安定化に向けた対策
N-9-1-8 川崎市 文字 群生 入江崎水処理センターにおけるりん負荷低減対策の検証及び管理運用方法の検討

第2会場（B1会議室）

S-7 COVID-19 13：00～14：05（4編）
S-7-1 東京都 石井 裕樹 下水中の新型コロナウイルスRNAの検出及び感染性に関する調査
S-7-2 クリアウォーターOSAKA（株） 安田 隆史 下水処理場の維持管理における新型コロナウイルス感染症対策の影響について
S-7-3 京都市 中村 暁彦 新型コロナウイルスの感染拡大による流入下水の水質変化及び水処理への影響と対策
S-7-4 福岡市 嶋田 誠 水処理センターにおける新型コロナウイルス感染症の自衛的対策について

N-9-2 水処理技術（2） 15：20～17：30（8編）
N-9-2-1 法政大学大学院 田村 大二郎 Ca ²⁺ 型ゼオライトを使用したリン回収技術の検討
N-9-2-2 北海道大学大学院 伊藤 結衣 都市下水の直接膜ろ過に組み込み可能な栄養塩回収方法の開発
N-9-2-3 茨城県 佐藤 有秀 工業排水を処理する下水処理場における大腸菌群及び大腸菌の動態について
N-9-2-4 日本下水道事業団 糸川 浩紀 数値シミュレーションによるアンモニア制御の挙動解析
休憩
N-9-2-5 （公財）日本下水道新技術機構 谷山 拓生 水草の消化プロセス導入による効果について
N-9-2-6 メタウォーター（株） 福嶋 俊貴 流入水質の連続計測と下水処理場運転計画への活用に関する検討
N-9-2-7 前澤工業（株） 中町 和雄 深槽曝気システムにおける汚泥の浮上とその対策
N-9-2-8 国立研究開発法人土木研究所 北村 友一 微生物担体処理によるアンモニア性窒素の除去時における医薬品の低減効果

N-1-2 経営・計画（2） 14：25～16：15（7編）
N-1-2-1 大分市 佐藤 洋輔 普及促進に向けたフレキシブルなクイック下水道整備
N-1-2-2 日本水工設計（株） 丸井 啓介 県と中核市が連携した広域化・共同化計画の策定（大分県の取り組みの紹介）
N-1-2-3 （株）東京設計事務所 中倉 弘勝 下水道広域化推進総合事業（旧MICS）の検討事例
N-1-2-4 （株）NJS 小間 康史 下水道事業運営の効率化に向けた新たな官民連携への取り組み
N-1-2-5 （株）NJS 中園 翔太 し尿・浄化槽汚泥等の下水道投入検討事例
N-1-2-6 （株）NJS 大森 稔寛 下水道区域のダウンサイジング検討、モバイルデータを活用した観光人口の計測
N-1-2-7 （公財）福島県下水道公社 小野 敏幸 中小規模下水処理場の点検手法の事例調査について

第3会場（B2会議室）

N-10-3 汚泥処理技術（3） 13：00～14：20（5編）
N-10-3-1 東京都 岸本 長 下水汚泥の焼却時に生成される焼結物の構造と人工知能を用いた煙道閉塞の抑制方法
N-10-3-2 三機工業（株） 伊東 賢洋 下水汚泥焼却灰の高温付着性におよぼすリンと鉄の影響
N-10-3-3 （株）神鋼環境ソリューション 尾家 俊康 環境配慮型創エネ焼却システムに関する実証
N-10-3-4 月島テクノメンテサービス（株） 篠野 充 高濃度りんによる焼結抑制に固形物演算を活用した事例報告（第3報）
N-10-3-5 中央大学 小泉 文佳 超高温汚泥炭化物の市場流通に向けた機能性評価

第4会場（B3会議室）

N-3-3 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験（3） 13：10～14：45（6編）
N-3-3-1 鶴岡市 佐藤 拓哉 下水処理水を活用したアユ養殖及び水耕栽培
N-3-3-2 旭川市 倉田 慧 旭川市の下水処理水による融雪槽の取組について
N-3-3-3 （公財）日本下水道新技術機構 山口 恵一 A市におけるノンポイント汚濁に関する共同研究
N-3-3-4 国立研究開発法人土木研究所 諏訪 守 オゾン、塩素消毒の再生処理によるウイルス低減効果とN-ニトロソアミン類の生成
N-3-3-5 米本 豊 横浜港の赤潮発生
N-3-3-6 大阪府 田仲 弘幸 大阪南下水汚泥広域処理場の既設炉と過給式焼却炉の各データ比較について

N-2-1 雨水対策（1） 14：40～16：15（6編）
N-2-1-1 （公財）日本下水道新技術機構 吉野 克則 河川水位の影響を受ける合流式下水道区域の効率的・効果的な浸水対策に関する研究
N-2-1-2 （公財）日本下水道新技術機構 酒井 雄平 下水道施設の耐水化計画策定手順等に関する共同研究
N-2-1-3 大阪市 前川 波奈江 効果的・効率的な浸水対策事業の進め方について
N-2-1-4 住友重機械エンバイロメント（株） 行谷 宗大 深層学習による分流式下水道の雨天時浸入水量予測技術
N-2-1-5 （株）日水コン 藤戸 航 基幹施設整備が概成を迎える大都市における段階的な浸水対策計画の検討事例
N-2-1-6 東京都 海老塚 裕明 渋谷駅周辺大規模再開発と連動した官民連携による雨水貯留施設の整備

N-3-1 環境・水リサイクル・水系水質リスク/理化学試験と微生物試験（1） 15：05～16：55（7編）
N-3-1-1 福岡市 藤野 智子 下水中のマイクロプラスチック調査における前処理方法の検討
N-3-1-2 横浜市 熊谷 輝真 粒径300μm以上のマイクロプラスチックを対象とした効率的な測定方法の検討
N-3-1-3 岐阜大学 鈴木 裕識 下水中の微細繊維状マイクロプラスチックの調査方法整備の検討
N-3-1-4 千葉工業大学 亀田 豊 下水処理場流入原水中のマイクロプラスチック濃度とポリマー別流入負荷量特性
N-3-1-5 川崎市 成島 正昭 下水中のマイクロプラスチックに関する実態調査
N-3-1-6 （公財）日本下水道新技術機構 松本 祐典 複数の下水処理場におけるマイクロプラスチックの実態調査事例
N-3-1-7 大阪市 中尾 賢志 下水処理場に流入するマイクロプラスチックの挙動解析（第3報）

第5会場（B7会議室）

N-7-2 管路（維持管理）（2） 13：10～14：45（6編）
N-7-2-1 東京都下水道サービス（株） 元吉 浩之 大口径管きょ点検用UAVの開発と実用化に向けた検証
N-7-2-2 札幌市 西 敬浩 高画質展開図化式カメラの性能について
N-7-2-3 （株）カンツール 佐々木 啓至 遠隔操作を用いた管内カメラ検査システムの実証実験と有効性について
N-7-2-4 管清工業（株） 相原 光 調査困難な中大口径下水道管路のスクリーニング事例
N-7-2-5 （株）パスコ 戸嶋 亮 特殊人孔3次元化手法の検討
N-7-2-6 横浜市 中村 龍麻 状態監視保全に基づいた、横浜市の管路ストックマネジメントを支える台帳システム

第6会場（B8会議室）

N-4-2 地球温暖化/省エネ対策（2） 13：10～14：45（6編）
N-4-2-1 （株）NJS 望月 海人 総量規制水域における窒素除去管理のための硝化抑制運転が下水処理場に与える影響
N-4-2-2 国土技術政策総合研究所 藤井 都弥子 小規模下水処理場における電力消費量算出式の作成と省エネに向けた検討
N-4-2-3 日本下水道事業団 山本 明広 新技術による下水処理場のエネルギー最適化に向けた検討
N-4-2-4 日本下水道事業団 熊越 瑛 電力自給率（創エネ比率）70%の下水処理場における運転管理調査結果について
N-4-2-5 （公財）日本下水道新技術機構 古屋 一寿 中小規模下水処理場のエネルギー自立化ケーススタディ
N-4-2-6 （公財）日本下水道新技術機構 蓮見 修平 エネルギー自立化のケーススタディについて

N-7-3 管路（維持管理）（3） 15：05～16：25（5編）
N-7-3-1 ヒノデホールディングス（株） 上原 将成 防食塗装を施した铸铁製マンホール蓋部品の下水道環境下での曝露試験に対する報告
N-7-3-2 （株）G&U技術研究センター 杉 伸太郎 マンホール蓋の開口面積とふた裏の湿度に関する基礎的実験
N-7-3-3 （公財）日本下水道新技術機構 石川 大祐 圧送管路に適用するモルタルライニング厚測定装置の試作機の開発
N-7-3-4 （株）日水コン 福永 健一 圧送管路の改築に関する事例研究
N-7-3-5 （株）栗本鐵工所 西原 佳和 下水道に使用するダクタイル铸铁管の内面防食材料について

N-4-3 地球温暖化/省エネ対策（3） 15：05～16：55（7編）
N-4-3-1 秋田工業高等専門学校 増田 周平 水処理プロセスにおける亜酸化窒素濃度の時間変動 一連続モニタリングの比較
N-4-3-2 東洋大学 毛塚 拳巧 環境中に放流される有機性排水を起源とするGHGs排出量算定方法の開発
N-4-3-3 国土技術政策総合研究所 栗田 貴宣 下水処理における一酸化二窒素発生量に影響を与える因子の検討
N-4-3-4 JFEエンジニアリング（株） 平山 敦 廃プラスチック助燃材の汚泥焼却炉への適用技術の開発
N-4-3-5 川崎市 菅原 充 川崎市における下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）の自主研究
N-4-3-6 月島機械（株） 河岸 正泰 創エネルギー型焼却システムの実証実験報告
N-4-3-7 （公社）日本下水道管路管理業協会 酒井 憲司 下水汚泥焼却灰の ¹³⁷ Csの推移とその起源

第7会場（B9会議室）

E-3 サイエンスとテクノロジー 13:00～14:45（5編）
E-3-1 国土技術政策総合研究所 松橋 学 An Inter-laboratory study on E.coli measurement method for sewage
E-3-2 国土技術政策総合研究所 長寄 真 The microbial community structure analysis in different treatment processes on a wastewater treatment plant
E-3-3 京都大学大学院 于 再治 Viral removal by wastewater treatment during wet weather when primary effluent discharges occur
E-3-4 京都大学 竹内 悠 Removal performance of nanomaterial membranes for emerging contaminants in wastewater
E-3-5 国土技術政策総合研究所 栗田 貴宣 Factors affecting the amount of nitrous oxide emission from wastewater treatment plants.

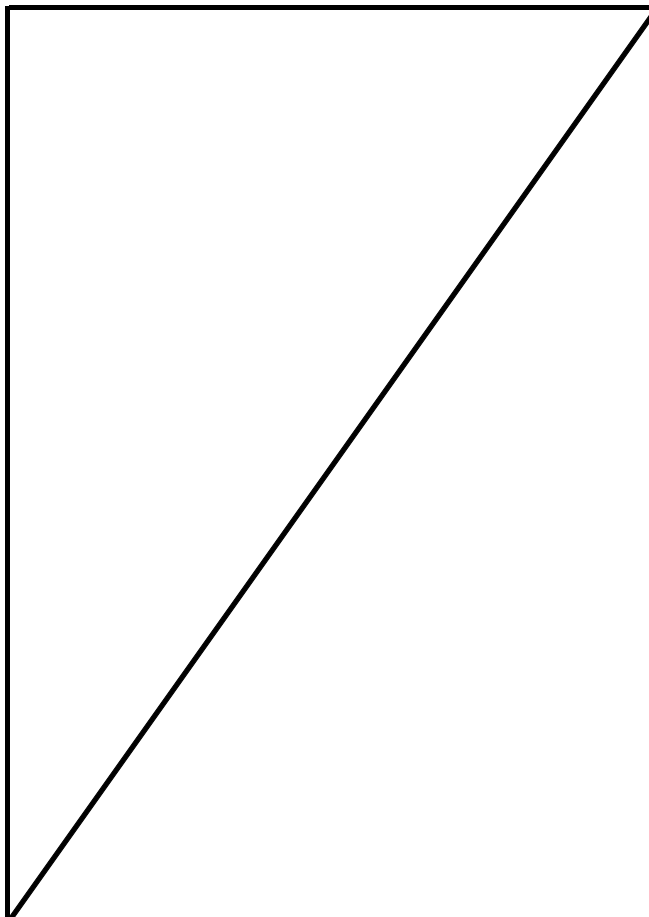
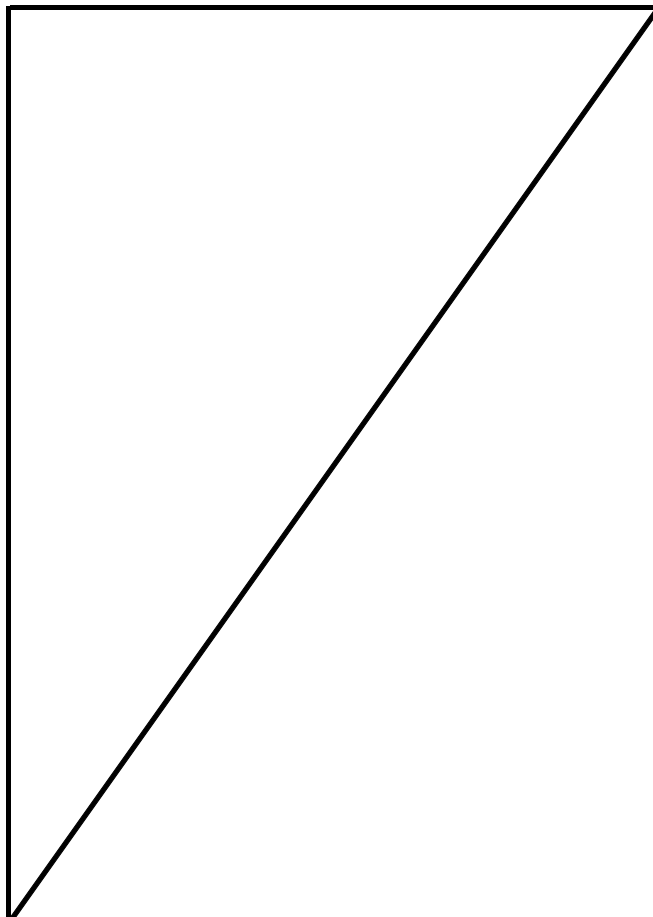
E-2 計画と実施事例 15:05～16:30（4編）
E-2-1 国土技術政策総合研究所 藤井 都弥子 Creation of power consumption calculation formula for small-scale sewage treatment plant and examination for energy saving
E-2-2 京都大学 Mohd Farihal Osman Water Reuse Management from Halal Point of View
E-2-3 国土技術政策総合研究所 福間 泰之 Report on restoration works of flooded wastewater treatment plants
E-2-4 国土技術政策総合研究所 岩渕 光生 Development of technical guidelines - The technologies that were carried out until 2020 in B-DASH project -

第1会場（コンベンションルーム2）

N-9-4 水処理技術（4） 10：00～12：10（8編）
N-9-4-1 堺市 渡邊 大介 堺市泉北水再生センターMBR施設における運転状況について
N-9-4-2 （株）クボタ 矢次 壮一郎 新たな高率脱窒MBRプロセスの長期実証試験における窒素除去性能
N-9-4-3 （株）クボタ 佐藤 沙耶 MBR施設におけるマイクロプラスチックの挙動調査
N-9-4-4 前澤工業（株） 田村 尚也 大型実証プラントにおける仕切板挿入型MBRの運転性と膜ファウリング進行
休憩
N-9-4-5 北海道大学大学院 佐賀 サムエル旗生 下水中有機物回収を行う高負荷MBRにおけるファウリング抑制
N-9-4-6 北海道大学大学院 角田 貴之 改良CST測定によるMBRの汚泥馴致期間における膜ファウリング制御
N-9-4-7 メタウォーター（株） 池田 恭子 最初沈殿池代替技術としての晴雨兼用高速ろ過システムによる生物処理への影響検証
N-9-4-8 三機工業（株） 松枝 孝 長期実証実験に基づくDHSシステムを用いた水量変動追従型水処理技術の導入効果

第2会場（B1会議室）

N-1-5 経営・計画（5） 10：00～12：10（8編）
N-1-5-1 日本大学 保坂 成司 管渠に生ずる異状と土地形状との関連性に関する研究
N-1-5-2 （株）東京設計事務所 亀谷 佳宏 ガス検知器を搭載した球体ドローンによる下水道管路内調査
N-1-5-3 高砂熱学工業（株） 川上 健志 ストーカ式バイオマスボイラによる乾燥汚泥ペレットの燃焼特性検証
N-1-5-4 東京都 末武 慶一郎 第一沈殿池汚泥かき寄せ機の更新計画策定に向けた劣化状況分析
休憩
N-1-5-5 （公財）日本下水道新技術機構 角田 太 改築・更新における省エネ機器の適切な導入のための研究
N-1-5-6 京都市 三田 和哉 京都市終末処理場におけるBIM/CIMの適用可能性に関する調査
N-1-5-7 （公財）日本下水道新技術機構 三井 直 スクリーニング技術を活用した効率的な管路の調査手法に関する研究
N-1-5-8 オリジナル設計（株） 菊地 秀介 処理場施設におけるプレキャスト構造の導入検証—生産性向上の有効性—

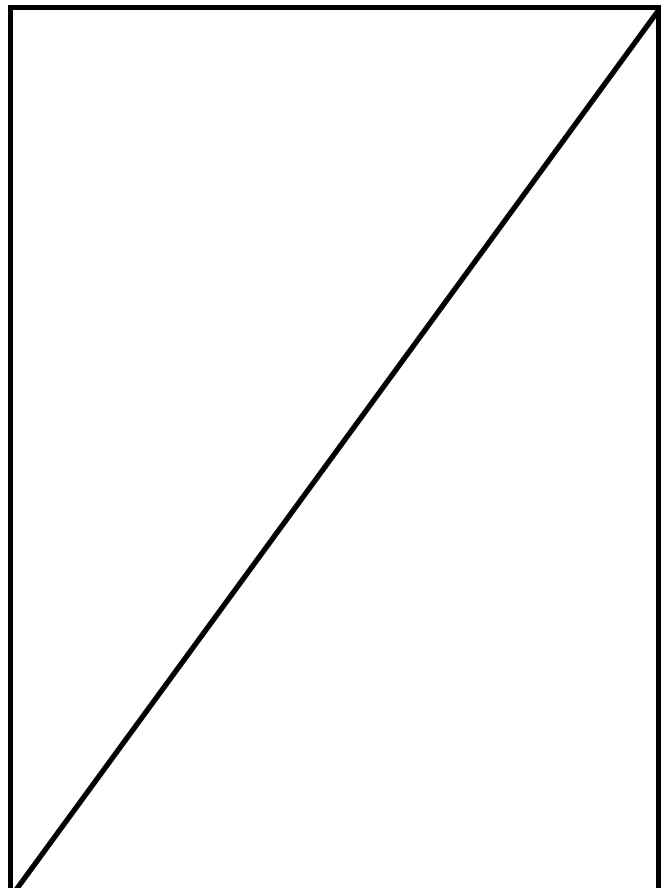
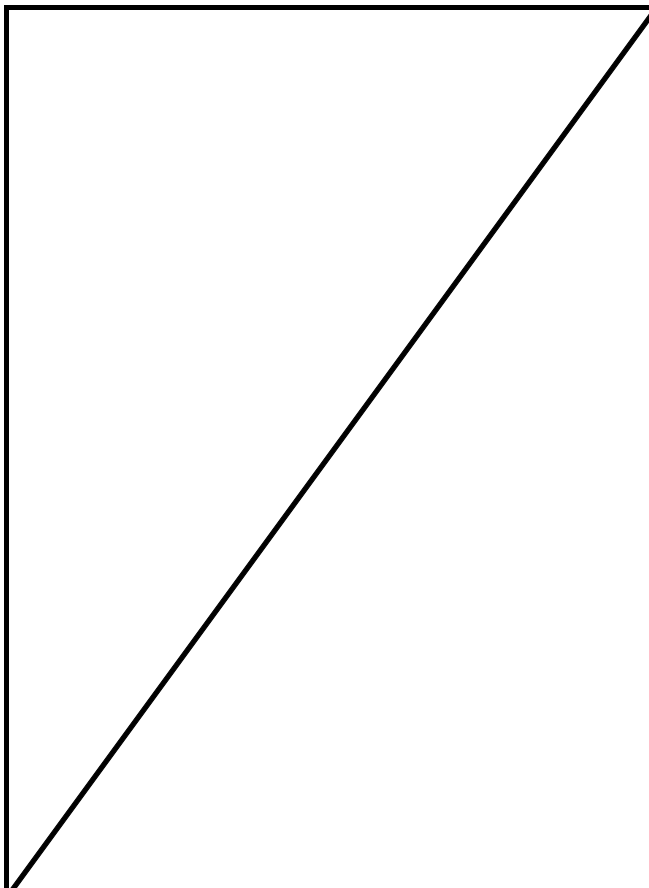


第3会場（B2会議室）

N-2-2 雨水対策（2） 10：00～12：10（8編）
N-2-2-1 （公財）日本下水道新技術機構 三木 貴仁 分流式下水道における雨天時浸入水の調査技術に関する研究
N-2-2-2 大阪市 前田 賢一 合流式下水道ポンプ場からの汚濁負荷量削減の取り組み
N-2-2-3 日本水工設計（株） 寺地 裕康 維持管理データと降雨予報を利用した雨天時浸入水の流入水量・水質予測
N-2-2-4 熊本市 坂巻 伸一 分流式下水道における雨天時活性汚泥法の試行について
休憩
N-2-2-5 クリアウォーターOSAKA（株） 吉田 彩子 雨天時浸入水対策としての3W処理法の適用に向けた沈降速度式の検討
N-2-2-6 （株）日立プラントサービス 佐々木 暁 雨天時活性汚泥処理法における傾斜板ユニットを用いた最終沈殿池の長期実証
N-2-2-7 （株）日立製作所 西田 佳記 雨天時下水処理における汚泥流出リスク評価手法の検証（その2）
N-2-2-8 （株）フソウ 須崎 岐嗣 大孔径膜（不織布）を用いた雨天時浸入水等に適した下水処理システムの開発その3

第4会場（B3会議室）

N-6-1 ポンプ場・処理場施設（建設）（1） 10：30～11：35（4編）
N-6-1-1 東京都 白銀 康弘 高濃度硫化水素に対する沈砂池機械設備の腐食対策について
N-6-1-2 日鉄ステンレス（株） 吉見 敏彦 下水処理場の流入部における二相ステンレス鋼の耐食性
N-6-1-3 日本下水道事業団 橋本 敏一 下水処理場における防食被覆層の劣化要因としての各所の有機酸濃度・組成の実態
N-6-1-4 日本下水道事業団 瀧本 由樹 実施における腐食環境に応じた耐硫酸防食被覆層の劣化傾向

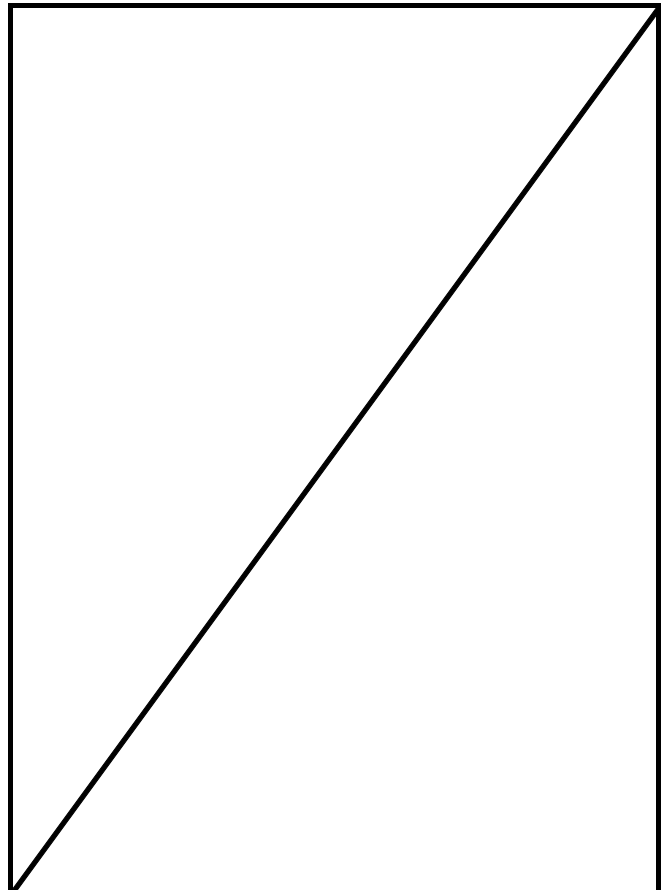
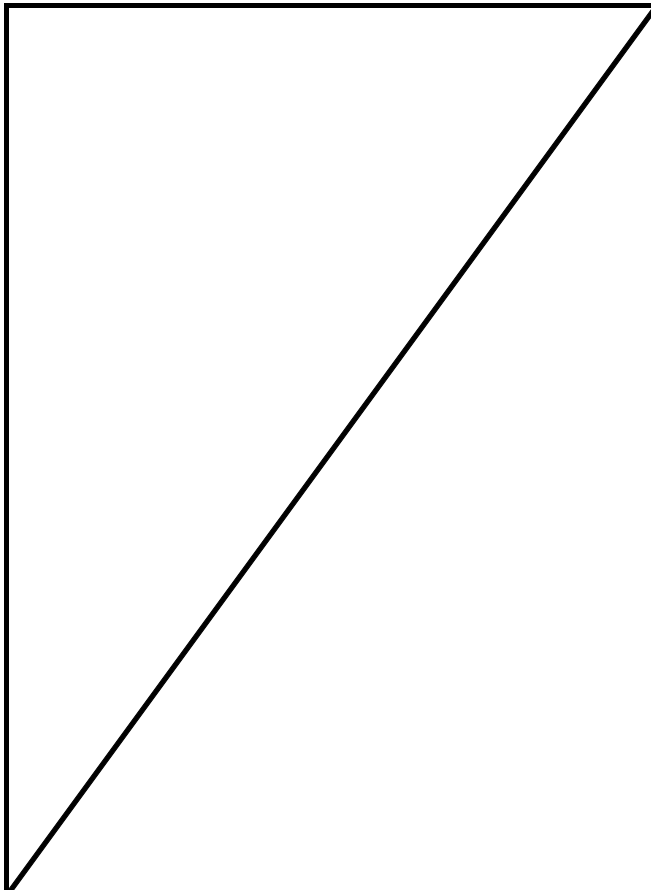


第5会場（B7会議室）

N-7-4 管路（維持管理）（4） 10：00～11：50（7編）
N-7-4-1 神戸市 浅井 真平 過年度調査データを用いた不明水に関する一考察
N-7-4-2 （公財）日本下水道新技術機構 麦本 佑一郎 流域下水道における雨天時浸入水対策に関する研究
N-7-4-3 （株）浪速技研コンサルタント 三井 保幸 分流式下水道施設における雨天時浸入水のメカニズム想定と 浸入率算出方法の提案
N-7-4-4 （株）パスコ 渡邊 嘉彦 既存データを活用した不明水対策事例
N-7-4-5 日本水工設計（株） 新穂 孝行 雲南市におけるMP運転データを活用した雨天時浸入水スク リーニング調査
N-7-4-6 （株）日水コン 滝本 麻理奈 雨天時浸入水対策計画を策定するための手法に関する一考察
N-7-4-7 （株）NJS 江口 倫太郎 機械学習を活用した雨天時浸入水のリスク評価システム構築 の検討

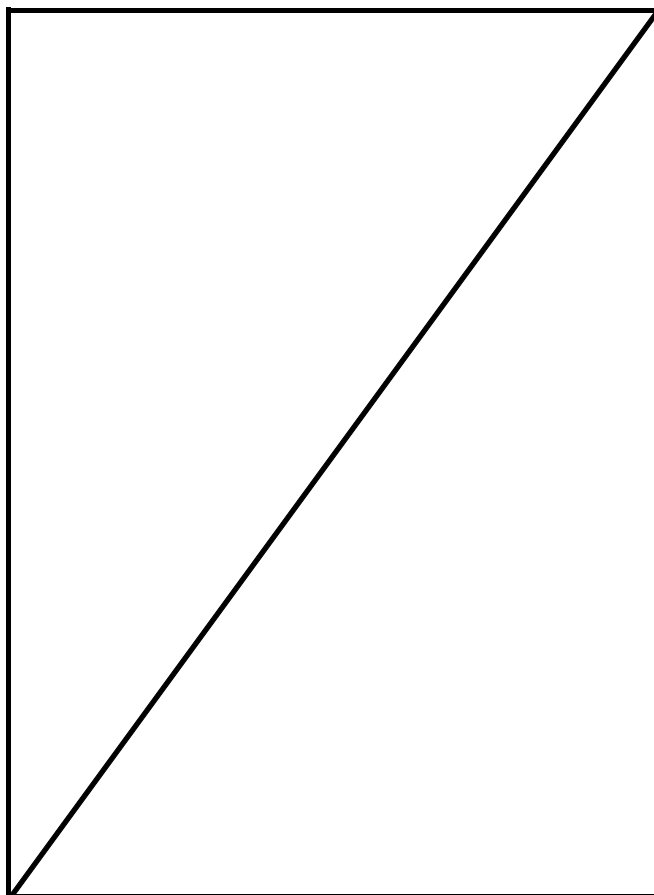
第6会場（B8会議室）

N-11-2 計測・制御（2） 11：00～12：05（4編）
N-11-2-1 横河ソリューションサービス（株） 眞仲 悟 無線振動センサを用いた設備保全における機械学習技術の応 用
N-11-2-2 （株）NJS 太田 幸志郎 効率的な管路施設の点検調査事例報告
N-11-2-3 ヒノデホールディングス（株） 立石 栄一 マンホール鉄蓋の開口構造を対象とした電波透過性向上に関 する検討
N-11-2-4 横河ソリューションサービス（株） 木幡 真樹 リモートでのエンジニアリング及び工場立会検査を利用した プロジェクト遂行の取組



第7会場（B9会議室）

N-5 管路（建設） 10：30～11：50（5編）
N-5-1 東京都 上出 祥司 大規模、大深度取水人孔設計における留意事項等について
N-5-2 神戸市 藤井 暁彦 推進工法による埋立地での障害物対応～葺合灘2号污水幹線 布設工事の設計・施工～
N-5-3 日本下水道事業団 梁池 秀介 複雑な諸条件を克服した雨水幹線親子シールド工事にみる施 工管理の今後について
N-5-4 横浜市 小野寺 正純 高土被りかつ硬質礫質土における長距離推進工法による設計 事例について
N-5-5 大分市 岡部 真和 設計施工一括発注方式（DB方式）による污水管路整備手法 について

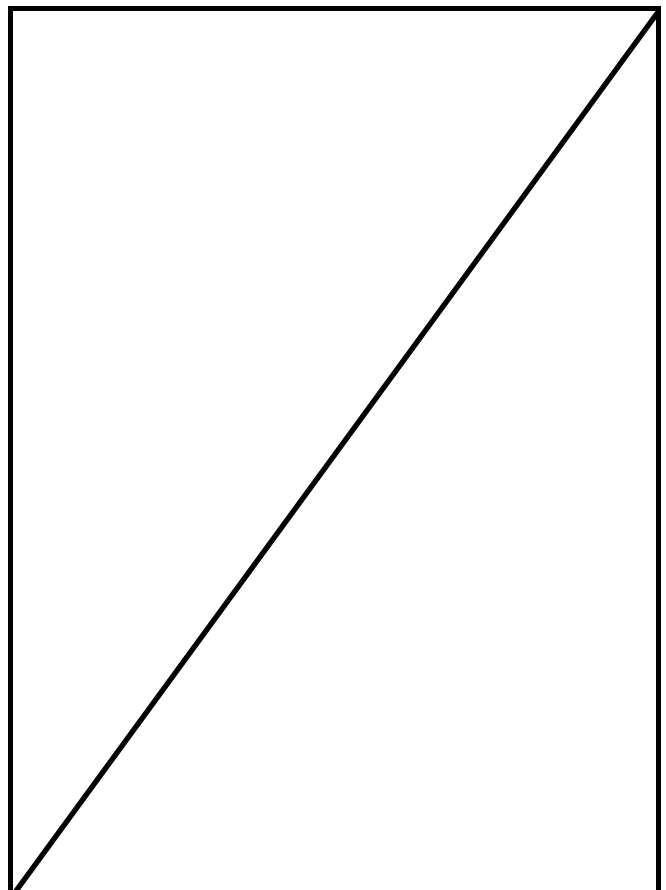
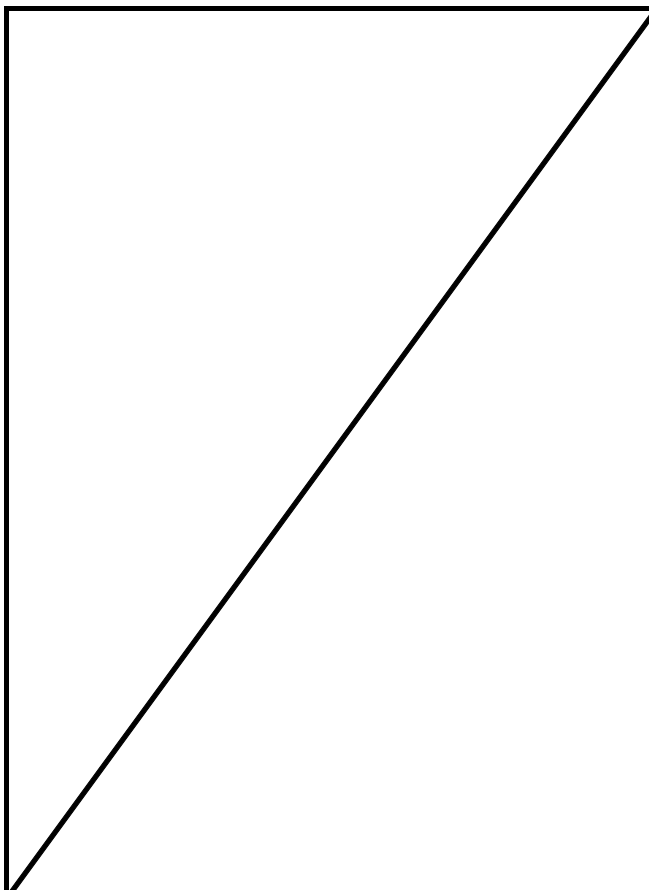


第1会場（コンベンションルーム2）

N-9-6 水処理技術（6） 13：30～15：40（8編）
N-9-6-1 東京理科大学大学院 柴崎 直也 活性汚泥の酸素消費メカニズムと汚泥の減量に関する考察
N-9-6-2 東京理科大学大学院 中川 真太郎 活性汚泥の酸素消費メカニズムに基づいたSRT制御運転による送風電力量の削減
N-9-6-3 日本下水道事業団 栗田 毅 反応タンク固形物管理手法に関する一考察
N-9-6-4 （株）日水コン 野田 慎治 初期活性汚泥界面沈降速度推定式に関する一考察
休憩
N-9-6-5 荏原実業（株） 南 大介 能力増強型水処理システムの流入負荷変動に対する処理水質の安定性向上
N-9-6-6 （株）日水コン 村田 道拓 活性汚泥モデルを用いた容量計算に係るパラメータ設定方法の検討
N-9-6-7 東京大学 佐藤 弘泰 管路内浄化装置の性能に及ぼす諸因子の整理
N-9-6-8 日本大学大学院 稲田 拓海 高濃度塩分に対応した活性汚泥法に関する基礎研究

第2会場（B1会議室）

N-1-6 経営・計画（6） 13：30～15：40（8編）
N-1-6-1 堺市 田鍋 裕樹 活性炭脱臭装置における維持管理コスト削減方法の検討
N-1-6-2 東芝インフラシステムズ（株） 胡 錦陽 回転繊維ユニットRBCシステムの性能検証～有機物・窒素除去性能の評価、その2
N-1-6-3 前澤工業（株） NGUYEN THANH PHONG 大型実証プラントにおける仕切板挿入型MBRの省エネルギー効果の検証
N-1-6-4 東京都立大学 後藤 遼太 UV/H ₂ O ₂ 及びUV/Na ₂ S ₂ O ₈ を用いたLASの分解効果
休憩
N-1-6-5 日本大学大学院 外立 凌也 衛生製品の下水道受け入れ基準に関する基礎研究
N-1-6-6 千葉工業大学 藤田 恵美子 オムツ等を由来とする高吸水性高分子マイクロプラスチックの下水中存在状況
N-1-6-7 長岡技術科学大学 雲 琢磨 下水放流水を熱源とした冷温熱を活用した循環式わさび栽培技術の確立
N-1-6-8 東京都下水道サービス（株） 岡田 吉人 中川建設発生土改良プラント3年間の歩みと環境への負荷軽減効果について



第3会場（B2会議室）

N-2-3 雨水対策（3） 13：10～15：00（7編）
N-2-3-1 （公財）日本下水道新技術機構 大菅 崇之 グリーンインフラ活用による下水道事業の推進に関する調査研究
N-2-3-2 広島市 信川 貴紀 水防法改正に伴う水位周知下水道の指定について
N-2-3-3 （株）東京設計事務所 鞍立 大喜 3Dフォトモンタージュによる処理場の耐水化対策の“見える化”
N-2-3-4 国土技術政策総合研究所 福岡 泰之 浸水被害を受けた下水処理場の復旧事例に関する調査報告
N-2-3-5 国土技術政策総合研究所 松浦 達郎 全国における計画降雨強度式の現状
N-2-3-6 横浜市 水谷 宙生 流出解析モデルを用いた下水道と河川を連動させた総合的な流域治水の効果検証
N-2-3-7 （株）東京設計事務所 清棲 拓馬 管きよの更生に伴う浸水リスクの変化を考慮した整備方針の検討

第4会場（B3会議室）

N-6-2 ポンプ場・処理場施設（建設）（2） 13：00～14：05（4編）
N-6-2-1 （株）日水コン 味澤 洋太 下水処理場の再構築業務における既存施設の能力評価手法活用の一考察
N-6-2-2 日本水工設計（株） 新井 達郎 施設の耐用年数を迎える下水処理場の再構築計画の検討事例
N-6-2-3 （株）東京設計事務所 尾浪 正晴 3次元流体解析を用いた既設分水槽の課題抽出とその改修案
N-6-2-4 東京都 志賀 佳典 施設の耐震補強設計における非線形解析の導入効果について

N-2-4 雨水対策（4） 15：20～17：10（7編）
N-2-4-1 日本大学 村野 哲太 マンホール内の圧力に着目した横引き管の排水機能に関する実験的検討
N-2-4-2 日本大学大学院 福沢 一輝 射流区間に設置する両側溝からの分水機能に関する実験的検討
N-2-4-3 日本大学 安田 陽一 雨水導水路における流量制御に関する実験的検討
N-2-4-4 東芝インフラシステムズ（株） 時本 寛幸 起動・停止水位の動的設定により浸水リスク低減を図る雨水ポンプ制御技術
N-2-4-5 東京都 山下 紀史 多機能型マンホール蓋を活用した雨天時浸入水対策について
N-2-4-6 （公財）日本下水道新技術機構 田中 祐一 雨水貯留施設等の設計手法におけるCFD解析モデルの適用性について
N-2-4-7 名古屋市 加藤 浩 長距離・大深度シールドにおけるビット交換に関する考察

N-6-3 ポンプ場・処理場施設（建設）（3） 14：25～15：45（5編）
N-6-3-1 堺市 上間 康司 水再生センターにおける送風機更新に伴う省エネ効果に関する考察
N-6-3-2 日本水工設計（株） 花井 伸明 し尿等の受け入れ影響評価手法についての考察
N-6-3-3 日本水工設計（株） 白石 順哉 ポンプゲート設備を併用した雨水ポンプ場の実施設計について
N-6-3-4 （株）フソウ 相谷 明宏 3D都市モデル整備に向けた下水道インフラ設備の効率的なデジタル化手法の検討
N-6-3-5 川崎市 東原 正拓 処理場建設工事における鉄筋のユニット化による工期の短縮と安全性の向上事例

第5会場（B7会議室）

N-7-5 管路（維持管理）（5） 13：30～15：05（6編）
N-7-5-1 （公財）日本下水道新技術機構 野平 正樹 マンホール更生技術の性能確認に関する事例報告
N-7-5-2 （公財）日本下水道新技術機構 今里 譲治 管きょ更生工法における施工延長検討の事例報告
N-7-5-3 オリジナル設計（株） 佐藤 雄哉 小口径管路更生における製管工法（自立管）の設計事例
N-7-5-4 大分市 佐藤 康成 樋門樋管開閉装置の簡易電動化について
N-7-5-5 名古屋市 水谷 朋子 地下排水槽による臭気問題への取り組みについて
N-7-5-6 大阪市 大橋 秀伍 水質規制業務におけるICTの有効活用について

第6会場（B8会議室）

N-11-1 計測・制御（1） 13：30～15：05（6編）
N-11-1-1 （公財）日本下水道新技術機構 加藤 伸孝 シングルボードコンピュータを活用した簡易水位計の情報取得に関する研究
N-11-1-2 月島テクノメンテサービス（株） 呂 曉也 曝気風量制御用バルブの流量制御特性の調査（第2報）
N-11-1-3 JFEアドバンテック（株） 濱崎 幹生 深紫外LED式UV計による下水処理場流入水のCODモニタリング事例の紹介
N-11-1-4 横河ソリューションサービス（株） 三上 正嗣 プラント制御へのAI適用事例
N-11-1-5 京都市 山本 雄大 新たな情報技術を活用した下水道管渠内情報の可視化に関する研究
N-11-1-6 （公財）日本下水道新技術機構 石井 祐充 管路内浄化システムの実証実験に係る遠隔での監視及び計測制御

